セキュアファイアウォール3100シリーズでのマルチインスタンスの設定

内容

はじめに

このドキュメントでは、バージョン7.4以降を実行するセキュアファイアウォール(PIX)3100シリーズでマルチインスタンスを設定する方法について説明します。

前提条件

Firewall eXtensible Operating System(FXOS)およびFirewall Management Center(FMC)のグラフィカルユーザインターフェイス(GUI)に関する知識。

要件

アクセス先：

- セキュアファイアウォール3100シリーズへのコンソールアクセス
- FMC GUIアクセス

使用するコンポーネント

- 7.4以降を実行するCisco Secure Firewall Management Center(FMC)
- Cisco Secure Firewallシリーズ3100
  - 3105以外*

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

マルチインスタンスモードでは、完全に独立したデバイスとして機能する複数のコンテナインス

タンスを単一のシャーシに展開できます。

7.4.1以降のバージョンの設定

ステップ1：シャーシコンソールポートに接続します。

コンソールポートはFXOS CLIに接続します。

ステップ 2：ユーザ名adminandとpasswordAdmin123を使用してログインします。

FXOSに初めてログインするときに、パスワードの変更を求められます。

注：パスワードがすでに変更されていて、そのパスワードがわからない場合は、デバイスのイメージを変更してパスワードをデフォルトにリセットする必要があります。イメージの手順については、『FXOSトラブルシューティング』ガイドを参照してください。

ステップ 3：現在のモード、ネイティブまたはコンテナを確認します。モードがネイティブの場合は、次の手順を続行してマルチインスタンス（コンテナ）モードに変換できます。

```
firepower# show system detail
```

以下に例を挙げます。

```
firepower# show system detail

Systems:
    Name: firepower
    Mode: Stand Alone
    System IP Address: 0.0.0.0
    System IPv6 Address: ::
    System Owner:
    System Site:
    Deploy Mode: Native
    Description for System:
```

マルチインスタンス状態の表示

ステップ 4：脅威対策CLIに接続します。

firepower#ftdを接続

以下に例を挙げます。

FTDへの接続

ステップ 5：脅威に対する防御機能に初めてログインすると、エンドユーザライセンス契約書(EULA)に同意するよう求められます。CLIセットアップスクリプトが表示されます。

セットアップスクリプトを使用すると、管理インターフェイスのIPアドレスやその他の設定を行うことができます。ただし、マルチインスタンスモードに変換する場合、保持される設定は次のとおりです。

- 管理者パスワード（初回ログイン時に設定）
- DNS Servers
- Search domains

管理IPアドレスとゲートウェイは、マルチインスタンスモードコマンドの一部としてリセットします。マルチインスタンスモードに変換した後、FXOS CLIで管理設定を変更できます。「FXOS CLIでのシャーシ管理設定の変更」を参照してください。

手順 6：マルチインスタンスモードを有効にし、シャーシ管理インターフェイス設定を設定し、管理センターを識別します。IPv4またはIPv6、あるいはその両方を使用できます。コマンドを入力すると、設定を消去してリブートするように求められます。EnterERASE（すべて大文字）システムがリブートし、モードの変更の一環として、コマンドで設定した管理ネットワーク設定と管理者パスワードを除いて、設定が消去されます。シャーシのホスト名は「firepower-model」に設定されます。

IPv4

マルチインスタンスネットワークの設定
ipv4ip_addressnetwork_maskgateway_ip_addressmanagermanager_name {hostname | ipv4_アドレス | DONTRESOLVE} registration_keynat_id

IPv6：

マルチインスタンスネットワークの設定
ipv6ipv6_addressprefix_lengthgateway_ip_addressmanagermanager_name {hostname | ipv6_ア

ドレス | DONTRESOLVE} registration_keynat_id

次のマネージャコンポーネントを参照してください。

- {ホスト名 | ipv4_アドレス | DONTRESOLVE}:管理センターのFQDNまたはIPアドレスを指定します。2台のデバイス間に双方向のSSL暗号化通信チャネルを確立するには、管理センターまたはシャーシのいずれか、少なくとも1台のデバイスに、到達可能なIPアドレスが必要です。このコマンドでマネージャのホスト名またはIPアドレスを指定しない場合は、EnterDONTRESOLVEを入力します。この場合、シャーシには到達可能なIPアドレスまたはホスト名が必要であり、at_idを指定する必要があります。

- registration_key：シャーシの登録時に管理センターでも指定する、任意のワンタイム登録キーを入力します。登録キーは37文字以内にする必要があります。有効な文字は、英数字(A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9)とハイフン(-)です。

- nat_id：一意のワンタイム文字列を指定します。これは、シャーシを登録するときに管理センターでも指定できます。一方側では到達可能なIPアドレスまたはホスト名が指定されません。マネージャアドレスまたはホスト名を指定しない場合は必須ですが、ホスト名またはIPアドレスを指定する場合でも、常にNAT IDを設定することをお勧めします。NAT IDは37文字を超えることはできません。有効な文字は、英数字(A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9)とハイフン(-)です。このIDは、管理センターに登録する他のデバイスには使用できません。

モードをアプライアンスモードに戻すには、FXOS CLIとenterscopeシステムを使用し、deploymode nativeを設定する必要があります。「FXOS CLIでのシャーシ管理設定の変更」を参照してください。

以下に例を挙げます。

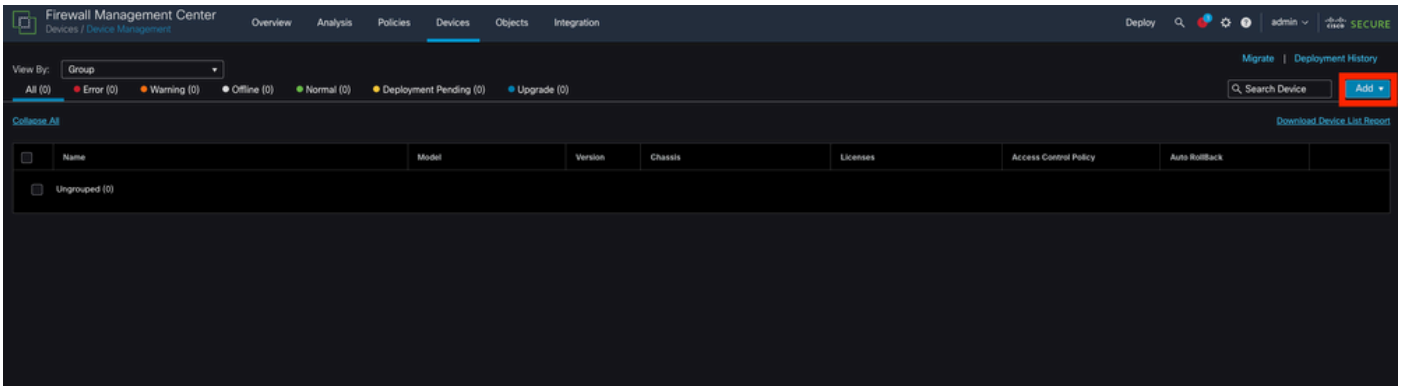
```
> configure multi-instance network ipv4 10.88.146.203 255.255.255.0 10.88.146.1
manager fmc1 10.88.243.100 cisco123 natid1
WARNING: This command will discard any FTD configuration (except admin's credentials). Make sure you backup your content
. All previous content will be lost. System is going to be re-initialized. Type ERASE to confirm:ERASE
Continue...
Validation check...
Checking startup version and csp file ...
Converting to MI mode, device will be rebooted and re-initialized...
>
Broadcast message from root@firepower (Sun Jan 22 00:10:14 2023):

All shells being terminated due to system /sbin/reboot

Broadcast message from root@firepower (Sun Jan 22 00:10:15 2023):

 System is restarted due to deploy mode changed
```

マルチインスタンスモードへの変更

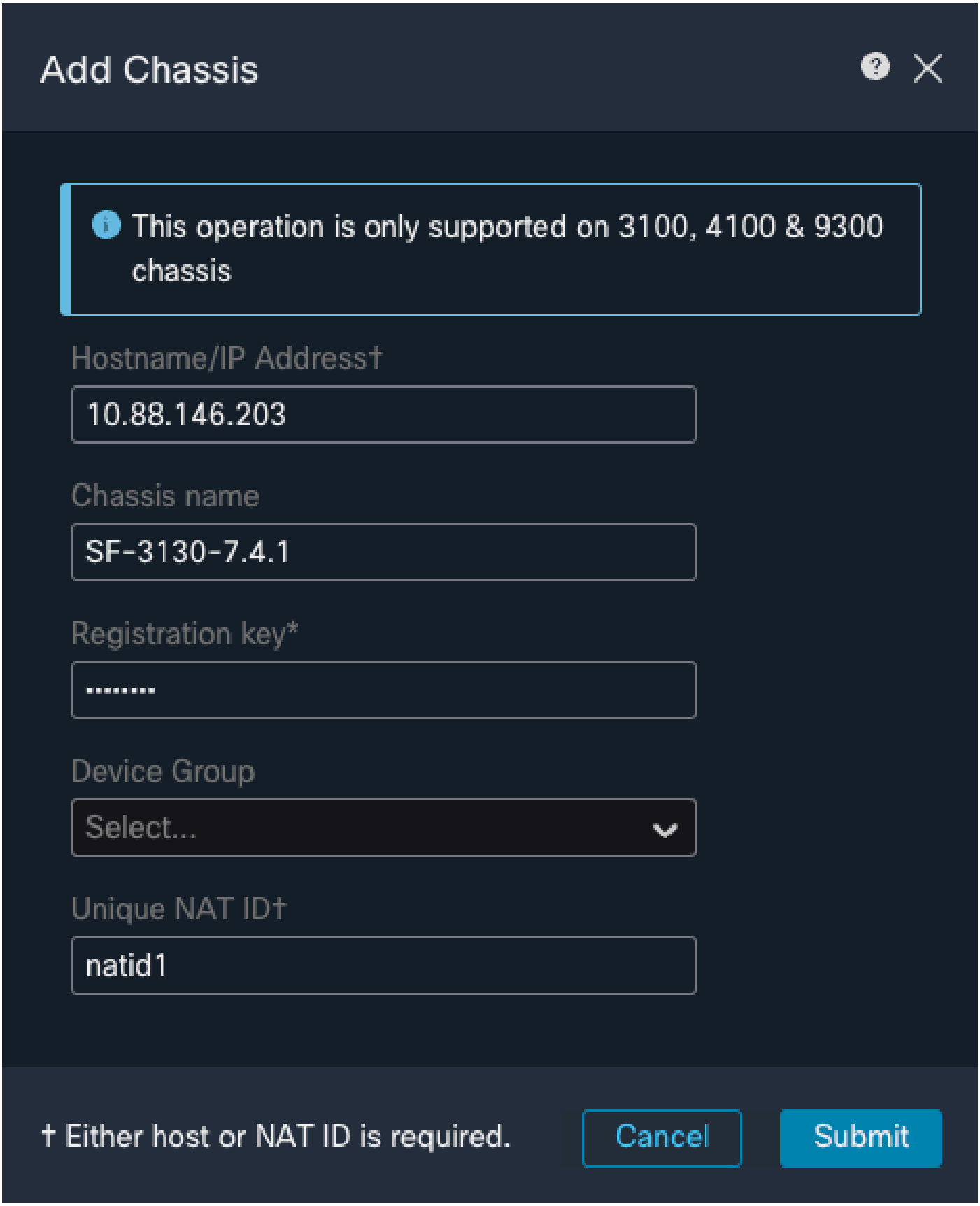
注:マルチインスタンスシャーシを管理センターに追加します。Management Centerとシャーシは、シャーシ管理インターフェイスを使用して個別の管理接続を共有します。Management Centerを使用すると、すべてのシャーシ設定とインスタンスを設定できます。FXOS CLIでのSecure Firewall Chassis Managerまたは設定はサポートされていません。

手順 7：管理センターで、シャーシ管理IPアドレスまたはホスト名を使用してシャーシを追加します。

- Devices>Device Managementを選択し、Add>Chassisの順に選択します。

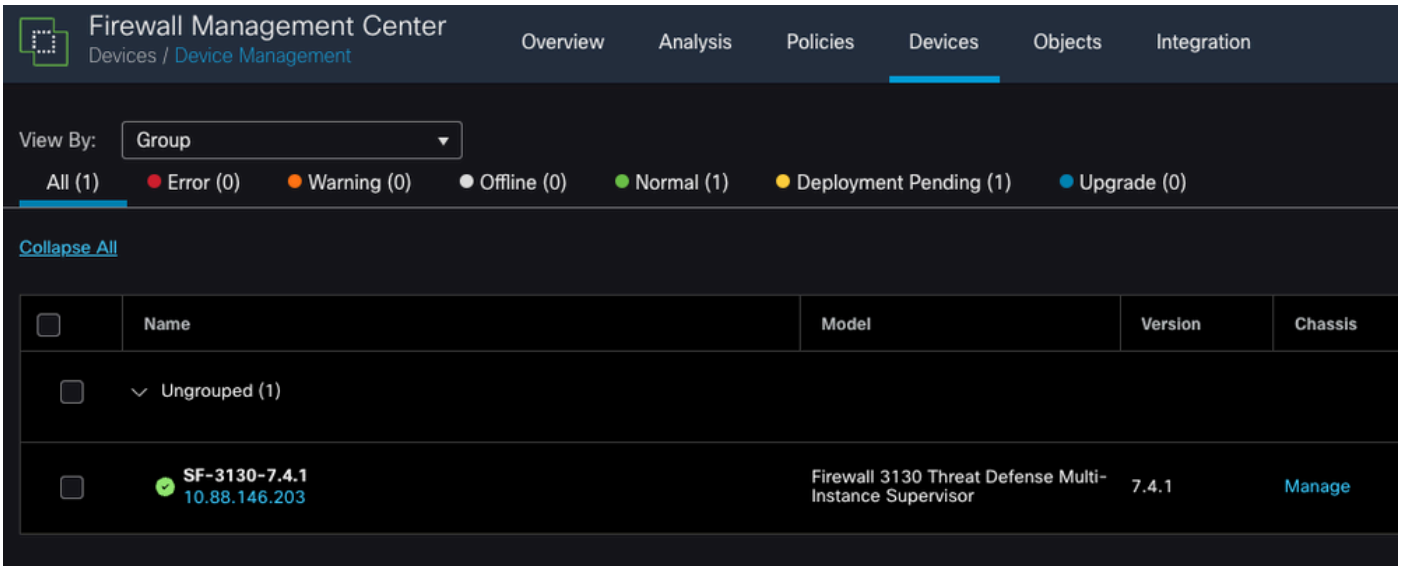


FMCへのシャーシの追加



シャーシのセットアップパラメータ

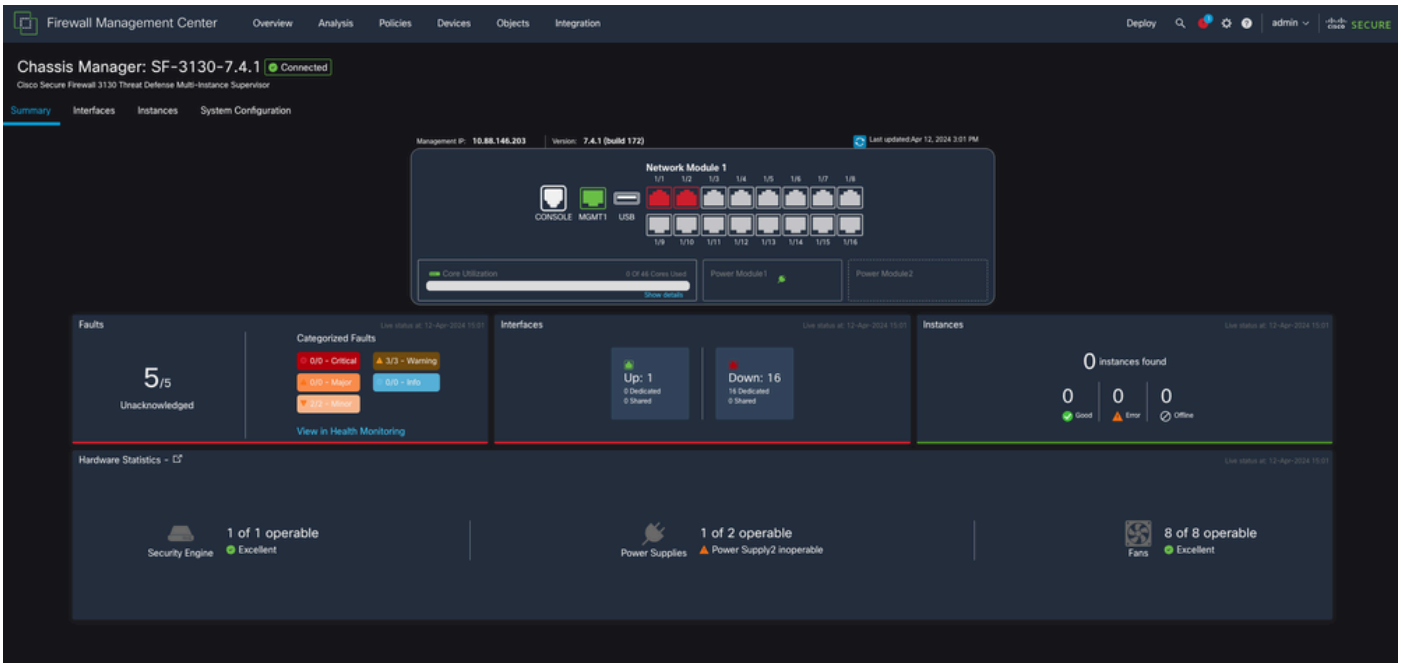
- シャーシがFMCに追加されたら、FMCのデバイスのリストでデバイスを確認します。



FMCに追加されたシャーシ

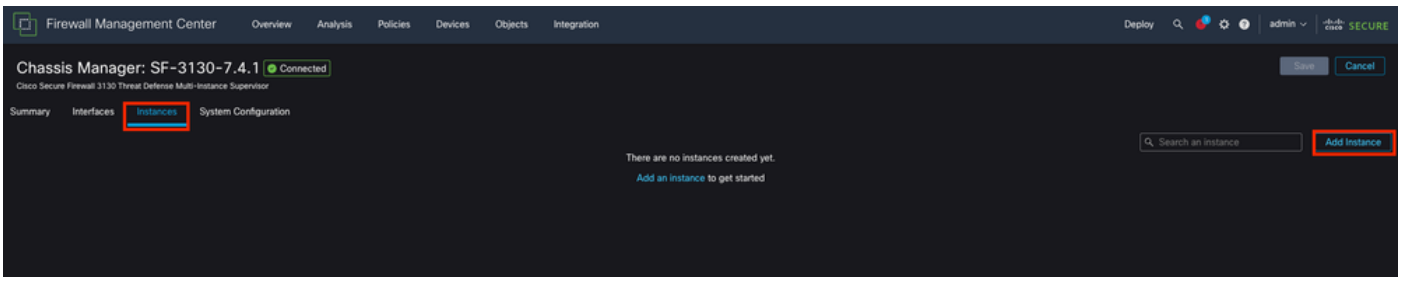
ステップ 8：シャーシを表示して設定するには、Chassis列のManageをクリックするか、Edit(✎)をクリックします。

シャーシのChassis Managerページが開き、シャーシがSummaryページに表示されます。



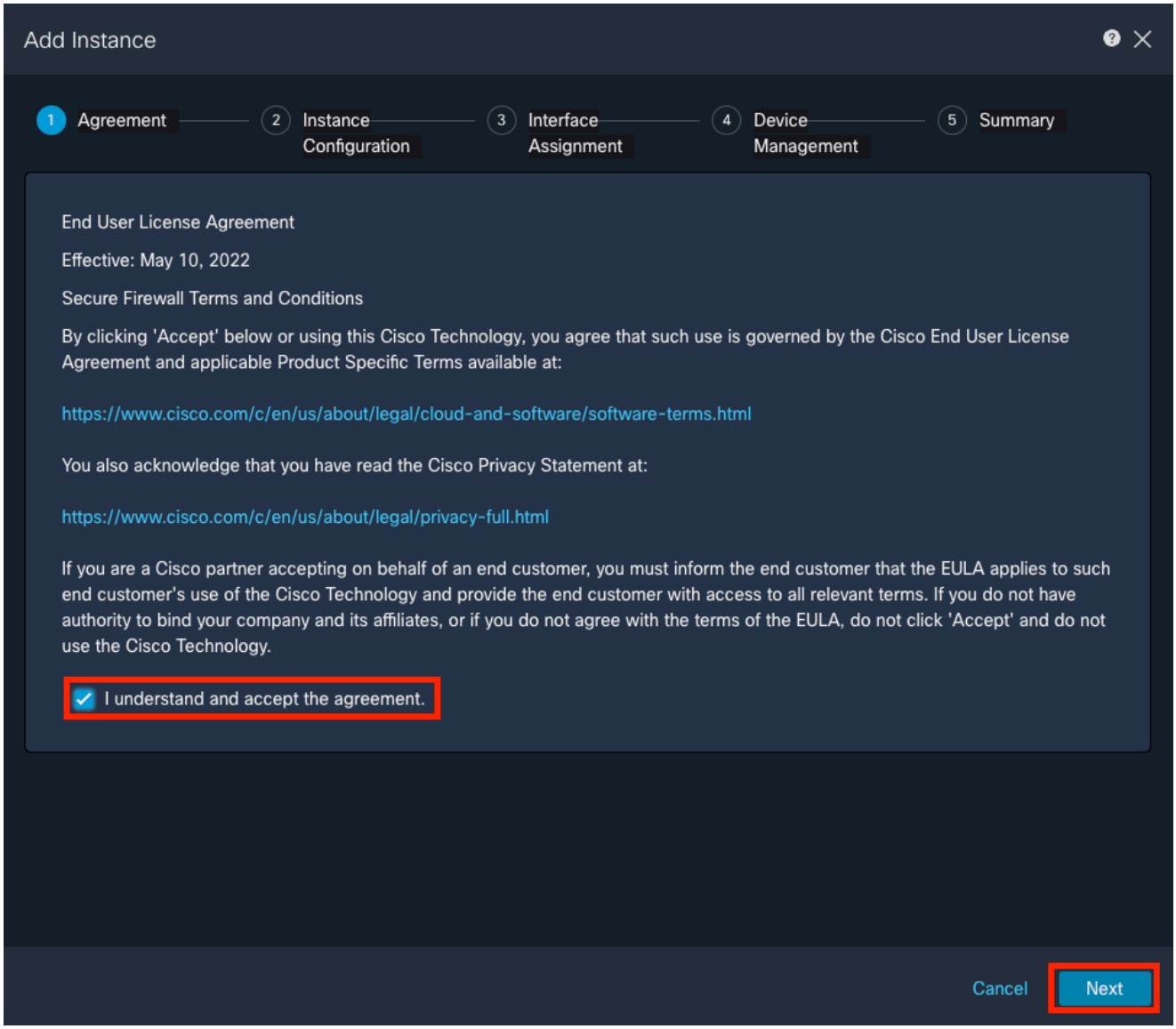
シャーシ管理

ステップ 9：Instancesボタンを選択してからAdd Instanceを選択し、シャーシ内に新しいインスタンスを作成します。



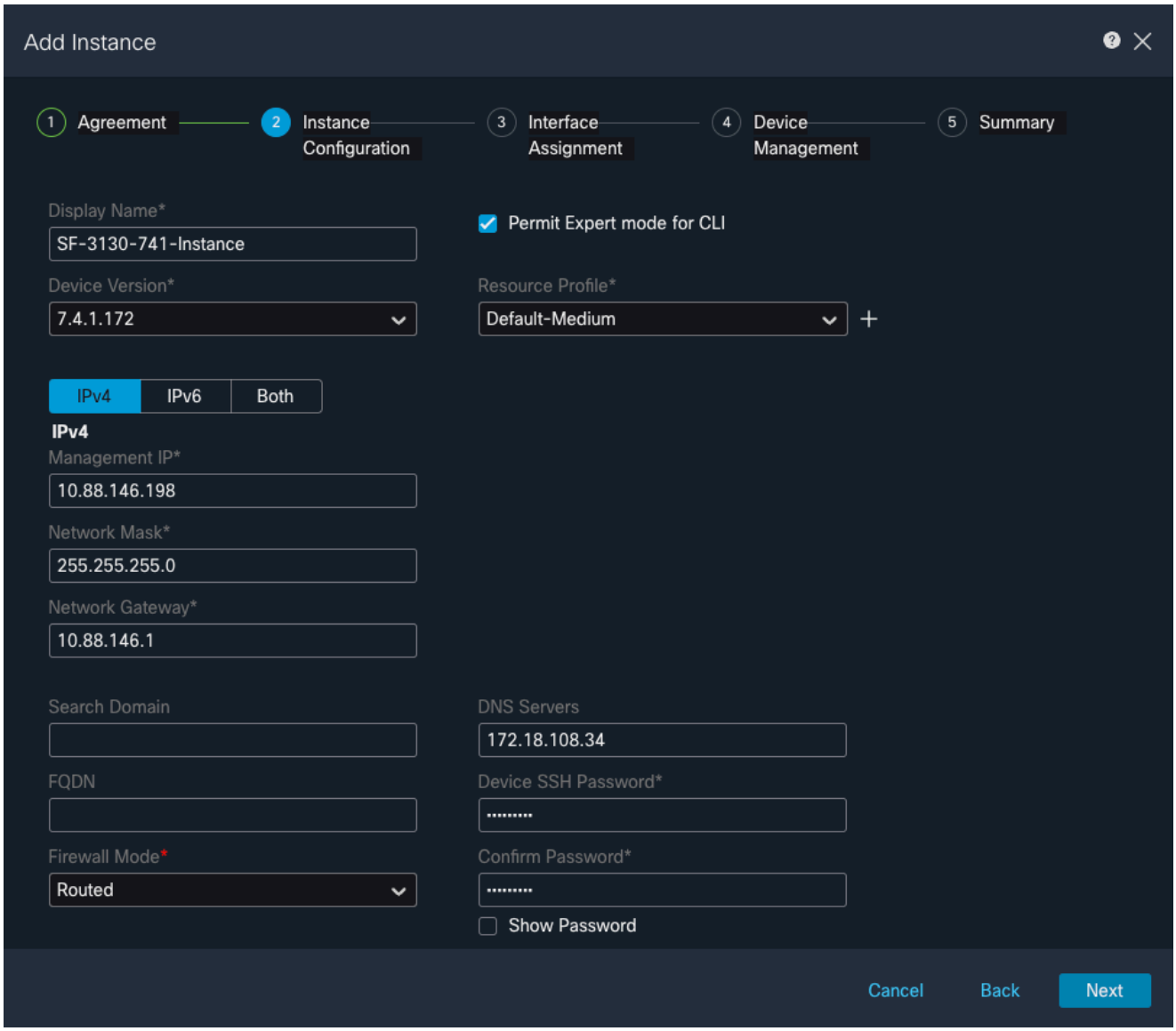
ステップ 10：ウィザードに従って、インスタンスのインストールを完了します。

1. 契約に同意します。



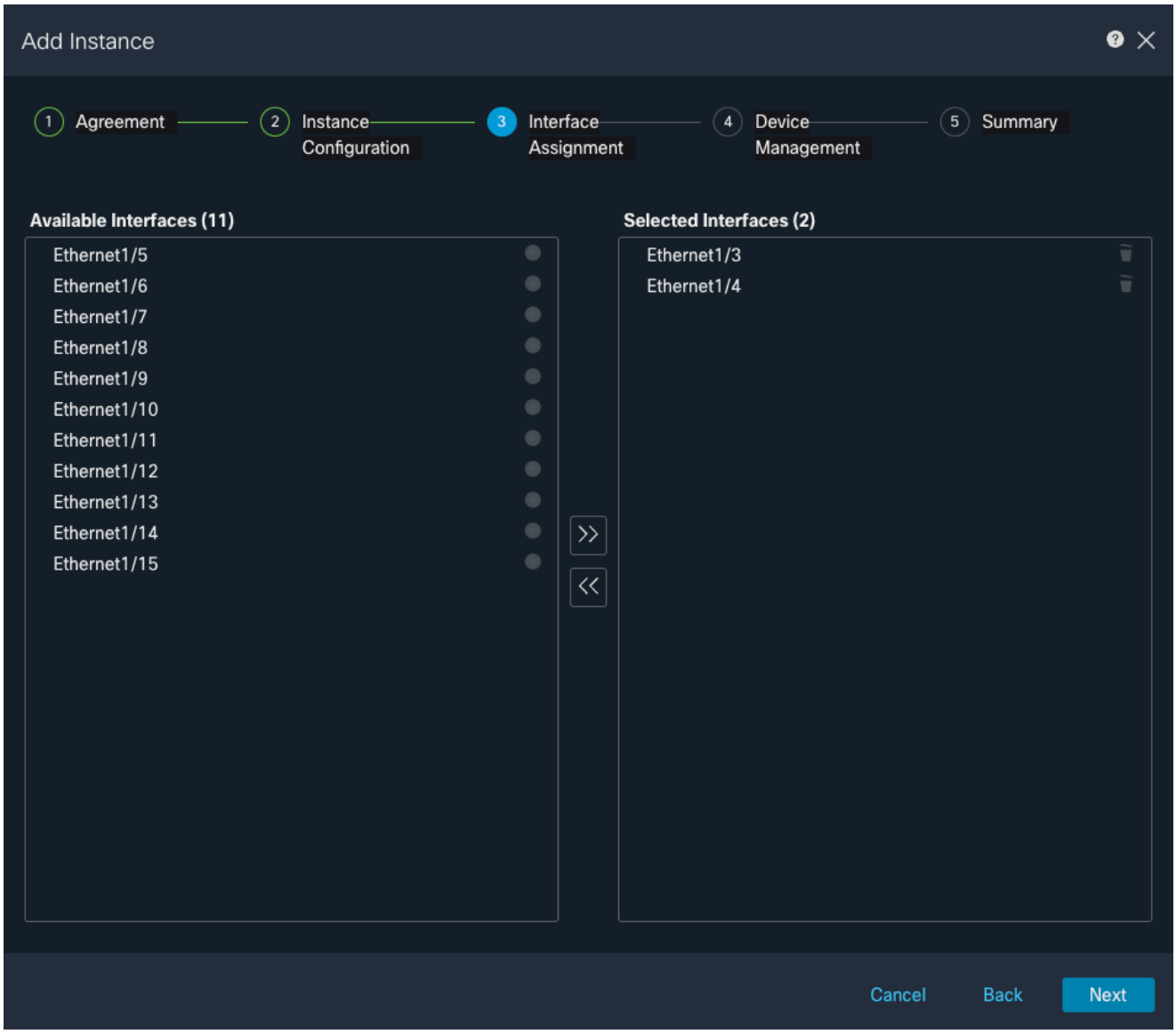
契約に同意する

2. インスタンスパラメータを設定する



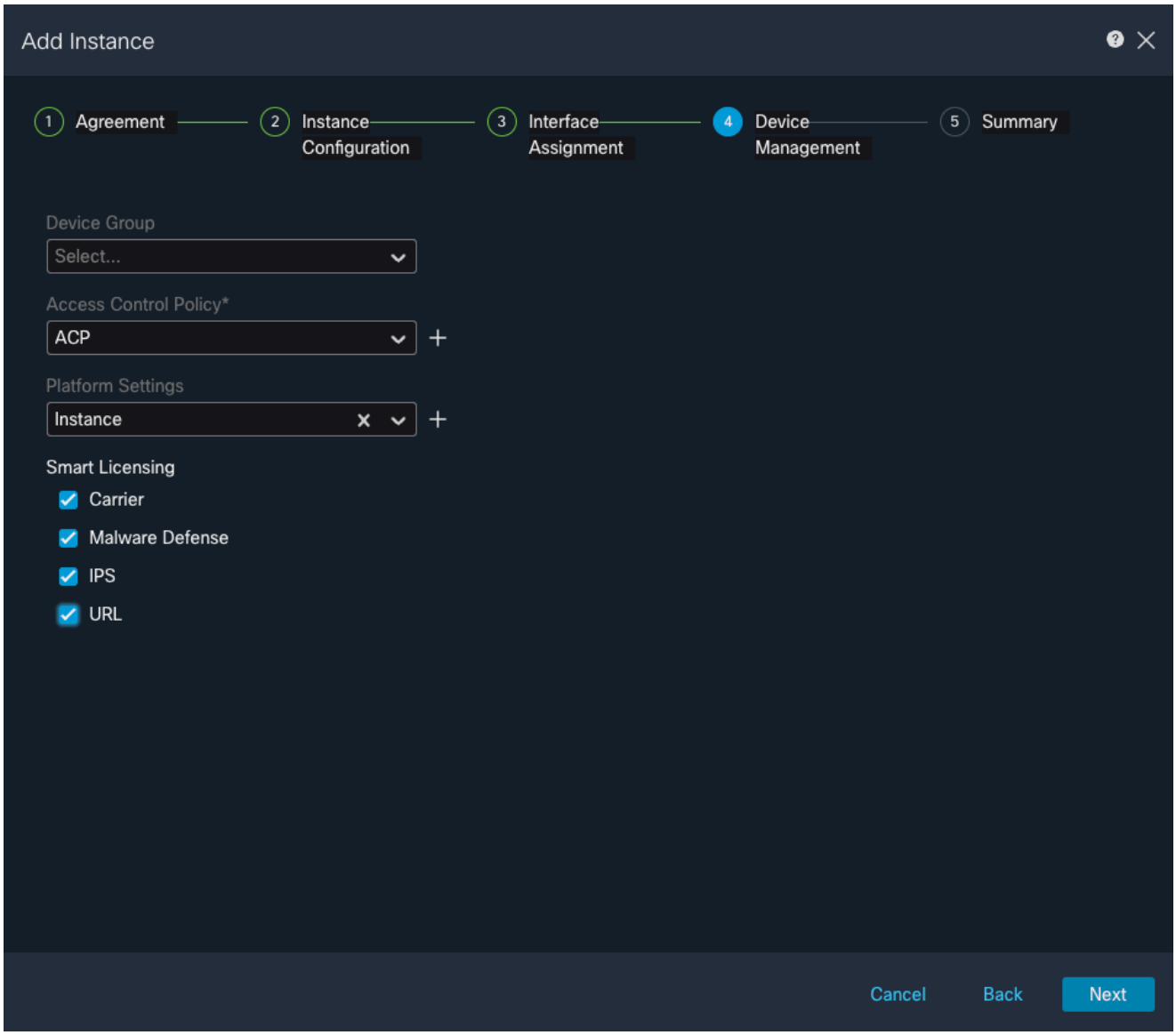
インスタンスパラメータ

3. インターフェイスの選択



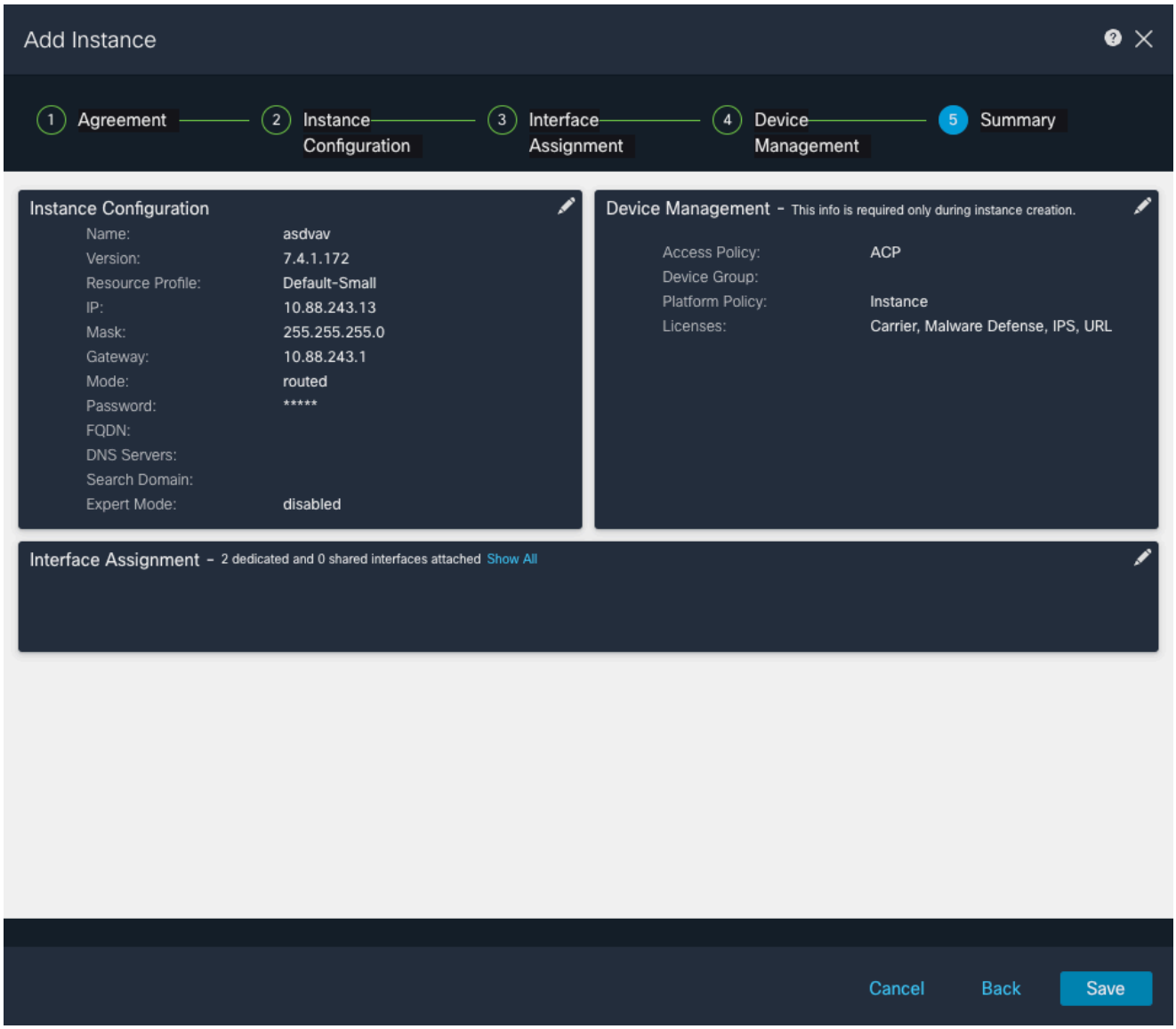
インターフェイス割り当て

4. デバイス管理。


Add Instance
1 Agreement
2 Instance Configuration
3 Interface Assignment
4 Device Management
5 Summary
Device Group
Select...
Access Control Policy*
ACP
Platform Settings
Instance
Smart Licensing
Carrier
Malware Defense
IPS
URL
Cancel
Back
Next

デバイス管理

5. 要約


Add Instance
1 Agreement
2 Instance Configuration
3 Interface Assignment
4 Device Management
5 Summary
Instance Configuration
Name: asdvav
Version: 7.4.1.172
Resource Profile: Default-Small
IP: 10.88.243.13
Mask: 255.255.255.0
Gateway: 10.88.243.1
Mode: routed
Password: *****
FQDN:
DNS Servers:
Search Domain:
Expert Mode: disabled
Device Management - This info is required only during instance creation.
Access Policy: ACP
Device Group:
Platform Policy: Instance
Licenses: Carrier, Malware Defense, IPS, URL
Interface Assignment - 2 dedicated and 0 shared interfaces attached Show All
Cancel
Back
Save

インスタンスの概要

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。